

記者会見資料

総合政策部 財政改革課

(担当 吉澤 22-9331)

平成 31 年度当初予算(案)の概要について

～新庁舎着工、35 年ぶり新設小開校、幼児教育・保育の無償化等による子育て応援、
多文化共生社会推進の過去最大積極予算～

平成 31 年度当初予算は、市制施行 65 周年を迎えるとともに、第 7 次小山市総合計画の 4 年目、国と基調を合わせた「小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標年度となることから、「ふるさと小山の持続的な発展に向けて」引き続き、「ひと・行政を創る」、「まちを創る」、「くらしを創る」の 3 つのまちづくりの基本理念を確実に、かつ効果的に実現するため、改元の年、新しい時代の幕開けに相応しい予算として、

第 1 に、平成 29 年 2 月 26 日の圏央道開通により立地利便性が一段と向上した栃木県第 2 の「南都」として、新 4 号国道沿線の新規工業団地の開発・企業誘致を推進し、若者の「雇用の確保」、駅周辺の再開発事業の本格着工、夢・未来あふれる“新しい時代の行政創り”の中核拠点となる「新庁舎建設」の着工による、「人と企業を呼び込む施策」の更なる推進と、

第 2 に、関東・東北豪雨災害を踏まえた 4 年目となる国営かんがい排水事業「栃木南部地区」の事業促進と平成 31 (2019) 年度に一級河川となる豊穂川・杣井木川等の「排水強化対策」による「安全安心な小山市」の創造、

第 3 に、幼児教育・保育の無償化、保育園等施設整備の実施、産後ケア事業の実施、出会いから結婚・妊娠・出産・育児までの包括的な子育て支援、35 年ぶりの新設小学校開校等、多文化共生社会推進、地域包括ケアシステム構築、老人クラブ育成・介護支援など予防介護等を一層充実させることで、平成 25 年度の「高齢化対応度日本一」に続く「子育て支援日本一」、「健康長寿 100 歳都市」を目指し、

第 4 に、小山市の「宝」であるコウノトリの長期滞在が実現した「渡良瀬遊水地」、「本場結城紬」、「小山評定」、「スポーツのまちおやま」などの地域資源に磨きをかけ、旧豪農屋敷を活用した農泊施設の整備に向け取り組む等「農泊・民泊・合宿泊」を中心としたエコ・アグリ・スポーツツーリズムなどによる交流人口及び、関係人口の増大を図るとともに、

第 5 に、下野市・野木町・結城市との「小山地区定住自立圏構想」、渡良瀬遊水地を共有する 4 市 2 町による「関東どまんなかサミット」、「栃木市との連携」等の推進による「50 万中核都市の実現」を目指します。

このような中で、「新庁舎建設事業着工」には約 49 億 8,500 万円、消費税増税対策として 10 月 1 日から実施する、子育て世帯を応援し社会保障を全世代型へ抜本的に変える「幼児教育・保育の無償化」、「低所得者・子育て世帯プレミアム商品券発行」等には約 12 億円の増加が見込まれており、その財源確保については、新庁舎建設については、国の市町村役場機能緊急保全事業の活用、消費税増税対策については全額国庫負担の方針が示されており、これらを最大限に活用するとともに、市税等自主財源の確保に取り組むほか、全職員が一丸となって、歳入に見合った歳出構造改革への取り組みや、企業の経営感覚に立ち、常にコスト意識を持った経費全般にわたる節減合理化と庁舎の集約により不用となる市有地の売却に取り組む等に努めてまいります。

その結果、平成 31 (2019) 年度の予算総額は 644 億円と 前年比 45 億 5 千万円、7.6%増の過去最大予算となりました。

当初予算における主な事業は、

1. 市民生活の安全・安心・健康づくり・医療・保健・スポーツ・教育・福祉対策の推進 9,441,811 千円

①市民の生命・財産を守り、地域の安全・安心な暮らしのために 5,780,298 千円

「新庁舎建設(着工)」、「国営かんがい排水事業栃木南部地区(新与良川排水機場着工)」、「排水強化対策」〔河道設計(一級河川化豊穂川)、輪中堤用地測量(杣井木川)、水位監視カメラ(杣井木排水機場、杣井木泉橋、石ノ上橋、新聞中橋)、準用河川化基本計画策定・水位計監視(小山栃木・立木排水路)〕、「防災体制の強化」〔自主防災組織育成、備蓄推進 5 カ年計画策定、防災ガイドブック策定、災害対策本部システム構築、防災備蓄物資(液体ミルク配備)〕、「ブロック塀等安全対策助成」、「一般市道整備等」、「空き家等対策[モデル事業(地域サロン、地域活動拠点)、適正管理、利活用]」、「消防力強化(消防団車両更新・高規格救急車更新)」、「小山市総合防災訓練」

②健康づくり・医療・保健・スポーツ・教育の充実のために 372,961 千円

「⑨未病対策推進」、「⑩女性がん検診」、「看護師確保支援奨励金」、「健康マイレージ」、「⑪東城南小学校開校」、「⑫小・中学校 ICT 環境整備(パソコン・タブレット)」、「英語教育のまち推進」、「⑬市立体育館整備(PF 着工)」、「⑭国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳整備(実施設計)」

③高齢者・障がい者等がいきいきと生活できる福祉対策等社会保障の充実のために 3,288,552 千円

「⑮第4期地域福祉計画策定」、「⑯低所得者・子育て世帯プレミアム商品券発行」、「基幹相談支援センター運営」、「生き生き好齢者育成支援」、「地域包括ケアシステム推進」、「重度心身障がい者医療費扶助」、「障がい者介護給付」、「障がい児通所支援」、「生活困窮者自立支援」、「⑰農福連携推進」、「⑱介護予防の推進(⑲認知症スクリーニング検査、いきいきふれあい事業推進、シニア元気あつぷ塾)」、「⑳見守り・支え合い推進」、「㉑多文化共生社会推進」

2. まち・ひと・しごと創生総合戦略、地方創生の推進 9,020,776 千円

①産業の振興による新たな雇用の創出のために 1,615,386 千円

「①新規工業団地開発推進〔小山東部第二工業団地(完成)、②テクノパーク小山南部(着工)〕」、「企業誘致促進助成」、「工業振興奨励」、「本場結城紬(プロモーション・生産振興・後継者育成)」、「農地耕作条件改善(ほ場整備、用排水路・農道整備)」、「県営経営体育成基盤整備(佐川南・塚崎・東野田)」、「日本型直接支払制度」、「担い手・農地総合対策(農地集積)」、「③鳥獣被害等対策(④イノシシ農業被害対策)」、「おやまブランド(企画・普及・全国発信)」、「⑤はとむぎの健康効能を活かした健康長寿のまちづくり推進【地方創生】」、「⑥『桑・蚕・繭・紬・和装・和食』地域資源で紡ぐ『日本の伝統を生かした総活躍のまち』づくり推進(⑦日本和食サミット【地方創生】)」、「⑧高収益作物生産基盤強化推進」

②新しい人の流れの創出のために 504,568 千円

「⑨ラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地の観光地化推進〔振興5カ年計画の推進[エコミュージアム化、協環境にやさしい農業推進(なつみずたんぼ)、コウノトリ・トキの野生復帰、観光誘客(地域おこし協力隊活動)、第二調節池湿地保全推進、⑩エコ・アグリツーリズム推進拠点整備【地方創生】]〕」、「⑪シティプロモーション推進(⑫関係人口増大)」、「⑬城山公園フラワーパーク整備(基本・実施設計)」、「⑭I・J・U(移住)推進(就職・人材確保支援、新幹線通勤補助)」、「転入勤労者等住宅取得支援」、「⑮農泊推進(⑯旧豪農屋敷活用、⑰地域おこし協力隊活動)」、「⑱料理人の聖地創出【地方創生】」、「⑲インバウンド推進(2020東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた3カ年計画推進)」、「⑳栃木国体開催事業(有望選手・チーム助成)」、「ロブレ再生支援」

③出会いから結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現のために 6,791,597 千円

「①第2次子ども子育て支援計画策定」、「②第2次子どもの貧困撲滅5カ年計画策定」、「③第3期児童虐待・DV対策基本計画策定」、「④幼児教育・保育の無償化(保育所・認定こども園・幼稚園等)」、「⑤保育所等施設整備(静林幼稚園、せいほう幼稚園)」、「⑥学童保育館施設整備(せいほう幼稚園)」、「とちぎ結婚支援センター小山運営」、「妊産婦健康診査助成」、「不妊・不育症治療費助成」、「産後ケア事業の推進」、「認定こども園施設型給付」、「キッズランドおやま運営」、「⑦こども医療費助成(⑧現物給付方式 中学生)」、「予防接種費助成」

④持続可能な地域づくりのために 109,225 千円

「①第8次小山市総合計画策定」、「②第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定」、「③SDGs 持続可能なまちづくり推進」、「④第7次行政改革大綱策定」、「地区まちづくり推進」、「小山地区定住自立圏構想推進」、「⑤広域連携制度推進」、「公共施設等マネジメント計画推進(公共建築物長寿命化計画策定、学校施設長寿命化計画策定)」、「⑥市制施行65周年記念式典及び各種記念事業」、「⑦市民交流センター指定管理者制度導入(間々田・桑)」、「⑧市職員働き方改革(⑨RPA 導入・⑩保育所入所AI マッチングシステム導入)」、「⑪教職員働き方改革(⑫部活動指導員)」

3. 社会資本整備を中心とした景気・地域経済の再生の推進 2,170,290 千円

①産業・都市・教育基盤整備による「人と企業を呼び込む施策」推進のために 1,910,622 千円

「市街地再開発(駅東通り一丁目第一地区、城山町二丁目第一地区等)」、「駅東口周辺地区土地利用推進(都市機能導入検討)」、「①都市再生整備(小山市中心拠点地区・大谷地区・②間々田駅周辺地区(第3期))」、「3・4・101 城東線道路整備」、「③LED 照明導入促進(④街路、⑤公園園路、小中学校屋内運動場)」、「⑥豊田中学区新」

設小学校整備事業(基本・実施設計)」

②地域住民の利便性向上のために 259,668 千円

「**マイナンバーカード利活用促進**」、「**コミュニティバス運行**」**小山・栃木広域公共交通相互乗入れ**【地方創生】」、「**大谷地区中心施設整備**（用地取得）」

4. 平成 31 年度その他の目玉事業

①地域・学校の安全安心として

市民生活安全安心推進[交通安全施設整備、安全安心情報配信、防犯パトロール、防犯カメラ(小山駅・間々田駅・思川駅周辺)、**特殊詐欺被害防止対策機器設置補助**、高齢者運転免許自主返納支援、LED 型地域防犯灯設置、スクールガードリーダー巡回、児童生徒防犯ブザー配布、小・中学校緊急通報システム運用]、間々田八幡公園整備、公園施設整備(長寿命化・バリアフリー化)

②地域防災強化事業として

排水対策事業(横倉・横倉新田、南半田他)、小山市総合防災訓練、**自主防災会設立強化**、防災協定交流、木造住宅耐震対策助成、市営住宅長寿命化推進

③くらしやすい市民生活の向上として

エコシティおやま推進、騒音振動悪臭防止、路上喫煙等防止対策

④市民パートナーシップの推進として

わがまちげんき発掘、グラウンドワーク活動推進、里親づくり(桜、道路、緑とあかり)、ボランティア活動推進

⑤新しい小山ブランドの創生として

小山評定ふるさと応援、地産地消・食育推進、ハンドベルによるまちづくり

⑥企業誘致の促進と中小企業の支援として

(1) 企業誘致の促進 新 4 号国道沿線新規工業団地推進

(2) 中小企業の支援 中小企業支援(工業所有権取得、ISO 認証取得、研究開発)、自社製品販路拡大支援

⑦道路環境整備の促進として

道路新設・改良(市道 7 号・**9 号**・34 号・201 号・263 号・**1198 号**・2501 号・**小山下野線西通り**・交通バリアフリー化・豊田緑地アクセス道路等)、橋梁長寿命化修繕、新田橋新設

⑧教育の推進と教育環境整備として

(1) 教育の充実 **おやま英語教育のまち推進**、特別支援教育サポーター配置、社会人 T・T 配置、大学生スクールサポート、複式学級解消のための教員採用、学校図書の拡充、本場結城紬・渡良瀬遊水地体験学習支援

(2) 教育環境整備 **地域とともにある学校づくり推進**(学校運営協議会設置校：小山市城南小他 5 校)、小中学校トイレ改修、**学びの教室**(**小山市城南市民交流センター**)、**小・中学校備品等の拡充**(**小学 1 年生用机・椅子更新**)、**田んぼの学校づくり**(**羽川西小**)、**食育推進**(ラムサールふゆみずたんぼ米、ホンモロコ、はとむぎ茶、ラムサールナマズ)

⑨行財政構造改革の推進として

保育所調理業務民営化(城北・出井・絹)、**Park-PFI 導入可能性検討調査**、**収納率向上対策強化**(**地方税共通納税システム導入**)、**第 6 次行政改革推進**(**RPA 利活用**)

(参考)

主な経費の比較

(単位:百万円、%)

性質別	平成31年度		平成30年度		対前年度比		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	構成比
義務的経費	28,155	43.7%	27,865	46.5%	290	1.0	△ 2.8
人件費	8,976	13.9%	8,946	14.9%	30	0.3	△ 1.0
扶助費(社会保障費)	13,361	20.8%	12,498	20.9%	863	6.9	△ 0.1
公債費	5,818	9.0%	6,421	10.7%	△ 603	△ 9.4	△ 1.7
投資的経費	10,242	15.9%	6,977	11.7%	3,265	46.8	4.2